

Yの

世を徒らしたんとして大変苦しいことのある気が  
するが、また四年前の事。

特別浴び上りて来たような事件がちらりともちらり  
はかりがちらり日記帳を開くとみたら、これまた  
実に平々凡々たるもの。所々拾い読みをしてみたら。

築地の分列以前 十以内先をしまし〜元気をあつ  
しゆるい相変る。働いてみる。二月元旦から大晦り  
まで芝居をやってみる。

知れこの年比較的芝居に出る世間をみる。旅行  
北海道、九州と初めの地方を歩くと相當忙し  
ちよ〜仕事のことを奮慨とみる。かたれす

もつと多くお婦人喧嘩を聞いたことをくた〜述べて  
みる。余程と惜しめられたらしい。毎日書き込みを  
したのを覚へてみるが、まずこの年おつたんがら  
でも日記帳の余白に「おらたちの花いぢんあ  
歌詞を走り書きとあるぢんをば子飛あ〜

けんお暢気おつたんが。  
お張り昔はよあつたあ〜とつく〜思ひ。

田村新子

ト